



▲整備した備品を点検する地域の皆さん
左：横田区(9/8) 右：知井振興会(10/14)

園部町横田区と美山町知井振興会が、宝くじの社会貢献広報事業として受託事業収入を財源に実施されているコミュニティ助成事業を活用し、備品整備に取り組みました。横田区はスピーカーなどの音響設備を、知井振興会はテントなどを購入され、それぞれ購入費用の9割以上に宝くじの助成金が充てられました。

両地域では、盆踊りや運動会、とんど祭りなどのさまざまなイベントに活用し、地域活性化を図りたいと意気込んでおられました。

9/8・10/14 コミュニティ助成事業備品点検作業

「宝くじを活用して地域を幸せに」

「協力し合い料理を作る食育教室」

8月26日、南丹市食生活改善推進協議会八木支部と八木東部児童館の共催で、「食育」と「地域の子どもの交流」を図ることを目的に、夏休み親子料理教室が開かれました。

教室では小学生13人と保護者4人が参加。包丁の使い方などを教わりながら、減塩調理をされた豚汁やいなりずしなど健康的なメニュー4品を作りました。食事の時間には、一生懸命に協力して作った料理を、みんなで楽しく味わいました。



▲食生活改善推進員さんからいなりずしの作り方を教わる参加者

8/26 夏休み親子料理教室

「下水道施設を楽しみながら学ぶ」



▲クイズ大会に参加する来場者

今年4月に市の施設となった南丹浄化センターで、下水道への理解を深めるために、「2016 南丹市下水道フェスティバル」が開催されました。

日ごろ、私たちが出した排水をどのようにきれいになっているかを学ぶため、南丹浄化センター施設内の見学や、下水道管内をカメラで確認する「管内調査TV車」、土砂などを清掃する「高圧洗浄車」などの実演、微生物観察などが行われました。また、下水道にまつわるクイズ大会があり、楽しく参加する親子連れの姿がありました。

8/20 2016南丹市下水道フェスティバル

「人権に対する私の思いを伝えたい」

8月20日、日吉町生涯学習センターで、第6回南丹市子どもの主張大会が開催されました。

今年度からは、南丹市立小中学生のほか、市内在住の京都府立丹波支援学校や京都府立園部高等学校附属中学校、私立小・中学校に通う児童生徒も対象とする公募形式としました。

550人を超える応募の中から、作文審査で入選した13人が、人権をテーマに、一人一人の感性を基に、普段の生活の中で感じ考えたことを、自分の言葉で力強く発表しました。



▲市長賞を受賞した東野好美さん(園中)(左)と
荻野青空さん(園二小)(右)

8/20 第6回南丹市子どもの主張大会